

総合支所を残し、サービス充実を

質問

愛西市が誕生するとき、住民説明会で、市役所・窓口業務について「愛西市の市役所は、現在の佐屋町役場に設けます。また、住民サービスの低下を招かないように、現在の立田村役場、八開村役場及び佐織町役場を分庁舎とします。なお、各分庁舎においては、総合窓口（総合支所方式）を配置し、住民の意見を十分に反映できるようにします」と説明され、5年が経過した。

合併については、住民投票で決めてほしいという住民の大きな要求があったが、実現

しなかった。合併について、住民に大きな不満があってもやってこれたのは、「サービスは高く、負担は低く」の立場で住民サービスの低下を招かないよう役場を残し、総合支所として業務をやってきたからではないか。

今回出された庁舎検討委員会の答申は、住民サービスについて大きな問題をもっている。その問題とは、総合支所を廃止し、出張所にするということだ。

総合支所が出張所になれば、窓口業務の低下は避けられない。

住民サービスを低下させないと考えるなら、庁舎検討委員会の答申の見直しが必要であると考えるが。

企画部長

答申の基本方針の見直しについて、市としては、庁舎検討委員会から渡された基本方針を当然尊重した中で、今後進めていきたいという考えに変わりはない。

質問

庁舎検討委員会の報告では、支所は市内特定地域に限り、主として市の事務全体にわたって事務をつかさどる事務所、出張所は住民の便宜のための市役所の窓口の延長であると説明している。

そのように議論されているのは間違いないか。

企画部長

指摘のとおり庁舎検討委員会においても、支所の業務、出張所の業務を資料を提示した中で整理し、審議してもらったのが、今回の結果ととらえている。

質問

現庁舎の取り扱いについて、心配なのは庁舎を維持するために耐震補強しなければ維持できないことだ。立田庁舎の場合は全面的であり、佐織庁舎の場合は、増築部分は耐震基準を一定満たしているが、最初の部分は満たしておらず、経費がかかるということである。

この有効活用をどうしていくのか、やはり経費がかかる庁舎については処分される可能性をもっていると思うが。

企画部長

耐震補強をやれば、当然経費がかかる。選択肢の一つだと考えている。

その他の質問

- ・ 佐織保育園の建て替えを
- ・ 根高や町方に公園の設置を



加藤敏彦 議員

